



「個」を強くする大学。

We strengthen the individual.



明治大学

MEIJI UNIVERSITY

明治大学共創教育<リサーチ・ダイアログ>「学習による変容を可視化し、教育の新しい『型』を考える:リベラルアーツとしての市民性の創造」(第2部), 明治大学情報基盤本部, 明治大学リバティホール(東京), 2019年11月4日

『対話』が導くアクティブラーニング 市民性を創造する『対話』の機能とモデル

Ver. 1.0 2019年11月4日

明治大学法学部・教授 阪井和男

明治大学情報基盤本部・副本部長



略歴 (2019年9月28日現在)

阪井和男 Kazuo Sakai
明治大学 法学部教授
(理学博士)
sakai@meiji.ac.jp
facebook.com/sakai1kaz

<研究テーマ>

組織と社会の死生学

<略歴>

- 1952年 和歌山県和歌山市生まれ
- 1971年 和歌山県立桐蔭高校卒業
- 1977年 東京理科大学理学部物理学専攻卒業
- 1979年 同大学院理学研究科修士課程物理学専攻修了
- 1985年 同大学院理学研究科博士課程物理学専攻退学
(6年間在籍)。ソフトハウスに勤務
- 1987年 理学博士(論文, 東京理科大学)取得。
サイエンスライター(フリー)
- 1990年 明治大学法学部専任講師
- 1993年 明治大学法学部助教授
- 1998年 明治大法学部教授

<インターネット公開授業>

- ・2019年度情報組織論I(春学期)の試聴用URL

<https://ex-server.muc.meiji.ac.jp/Mediasite/Catalog/catalogs/sakai2019s>

- ・2018年度情報組織論II(秋学期)の試聴用URL

<https://ex-server.muc.meiji.ac.jp/Mediasite/Catalog/catalogs/sakai2018f>

<役職等>

明治大学情報基盤本部 副本部長
明治大学サービス創新研究所 所長
明治大学情報化戦略協議会 委員

<公職等>

ドラッカー学会 代表理事
芸術思考学会 会長
私立大学キャンパスシステム研究会 会長
日本ドローン振興協会(日本先進ドローン都市推進協議会) 会長
京丹後市近未来技術普及促進協議会 副会長
日本ビジネス・コミュニケーション学会 副会長
アカデミック・コーチング学会 副会長
DPCマネジメント研究会 理事
エッセンシャル・マネジメント・スクール 特別研究員
日本教育言語学会 企画・広報担当委員
早稲田大学情報教育研究所 招聘研究員
情報コミュニケーション学会 顧問
電子情報通信学会 思考と言語研究会(TL) 顧問
有限会社想隆社 顧問(科学技術担当)

<NPO等>

一般社団法人日本オープンオンライン教育推進協議会(JMOOC) 理事
ネクストワールド・サミット 顧問・審査委員長(一般社団法人日本経営イノベーション協会)
NPO実務能力認定機構 理事
NPO法人 学習分析学会 理事
一般社団法人教育機関の情報環境構築と人材育成協議会(通称:ファーストスタープロジェクト) 理事



目次

1. 「対話」とは何か？
2. 対話が創発する市民性
3. 社会的態度の構造
4. 重層的に「対話」を組み込んだ信州エクスターンシップ
2018
5. 「対話」は共生的態度を育むか？
6. 対話をPACモデルで解釈する

シェア & ダイアローグ

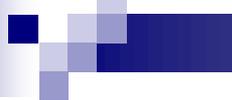
Q:「対話」とは何をすること
でしょうか？

どうして、そう思うのですか？



MEIJI
UNIVERSITY

「対話」とは何か？



対話とは何か？

■ 対話（ダイアログ）

→ 健全な社会をつくり出すパワーをもつ

□ おしゃべりでもディベートでもない

□ 一人ひとりの居場所をつくるもの

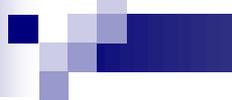
□ 一人ひとりができる行為である

■ 共生的な社会的態度の喪失

← 一人ひとりの対話という行為の喪失

□ 対話がもつ2つの機能

→ 「共生」と「自律」



対話が育む共生的態度

■ 対話の共生的な面

→ 市民性の創造に直接貢献するもの

□ 「社会において個人が自分以外の他者とともに対話によって生きること」*(p.213)

□ 「人と人がつながり、お互いを理解して、よい関係をつくり、そのことによって、さらに住みよい社会をつくっていく」*(p.146)こと

*細川英雄,『対話をデザインする: 伝わるとはどういうことか』, ちくま新書, No. 1417, 筑摩書房, 2019年6月10日.



対話が育む自律的態度

■ 対話の自律的な面

→もう一人の自分を自分の中に構築すること(アレント)

□「さまざまな価値観の対立の中で、その意味を問い、深く考える」*(p.213)こと

□「〈対話〉とは、——科学的議論のように——個人がみずからの人生を消去して語るのではなく、むしろ人生をまるごと背負って語ること」**

→「対話」には全人格的な交流が欠かせない

*細川英雄,『対話をデザインする:伝わりとはどういうことか』,ちくま新書, No. 1417, 筑摩書房, 2019年6月10日.

**中嶋義道,『〈対話〉のない社会:思いやりと優しさが圧殺するもの』,PHP新書, No. 032, 1997年11月4日.



MEIJI
UNIVERSITY

対話が創発する 市民性



ファシズムとの戦いで育まれた「市民性」

■ 全体主義国家

□ 1つの統合された**集合的な共同体**

□ 全体主義国家を正当化

■ 国家の強さを保つために**暴力の実行や戦争を行う意思と能力**を持つ強力なリーダーシップ

■ 単一の集団的なアイデンティティを必要とする有機体的な共同体

→ 多元主義を社会の機能不全の様子とみなす



全体主義を押し止める急所

■ 全体主義の急所

- **複数性**が担保されている状況では、全体主義がうまく機能しない(p.104)

■ 複数性(多元性)

- 自分とは異なる考え方や意見をもつ他人との関係のなかで、初めて人間らしさや**複眼的な視座**を保つことができる

→ 人類の多様性を否定する行為や計画は決して許容できない
(p.100)



非営利組織の2つの役割

- 「人間変革機関」(社会課題の解決)
 - 社会セクターの組織は人間そのものを変えることを目的とする
 - 社会セクターの組織の目的は、**心身の健康を生み出す**ことである
- 「市民性創造」
 - 非営利組織のもう1つの重要な役割
 - 「非営利組織のボランティアとしてならば、一人ひとりの人間が再び**世の中を変えることができる**」

シェア & ダイアローグ

Q: あなたは参議院選挙に
投票しましたか？

それは、なぜですか？

シェア & ダイアローグ

Q: あなたの社会的態度は
どれだと思いますか？

「一緒にやっていく」「排除する」「逃避する」「引きこもる」

それは、なぜですか？



MEIJI
UNIVERSITY

社会的態度の構造



4つの社会的態度

逃避する

一緒にやっ
ていく

引きこもる

排除する



対話による自他肯定感向上仮説

■ 仮説

- 「対話」は、他者否定や自己否定の潜在的な認知を肯定側に強める効果をもつ

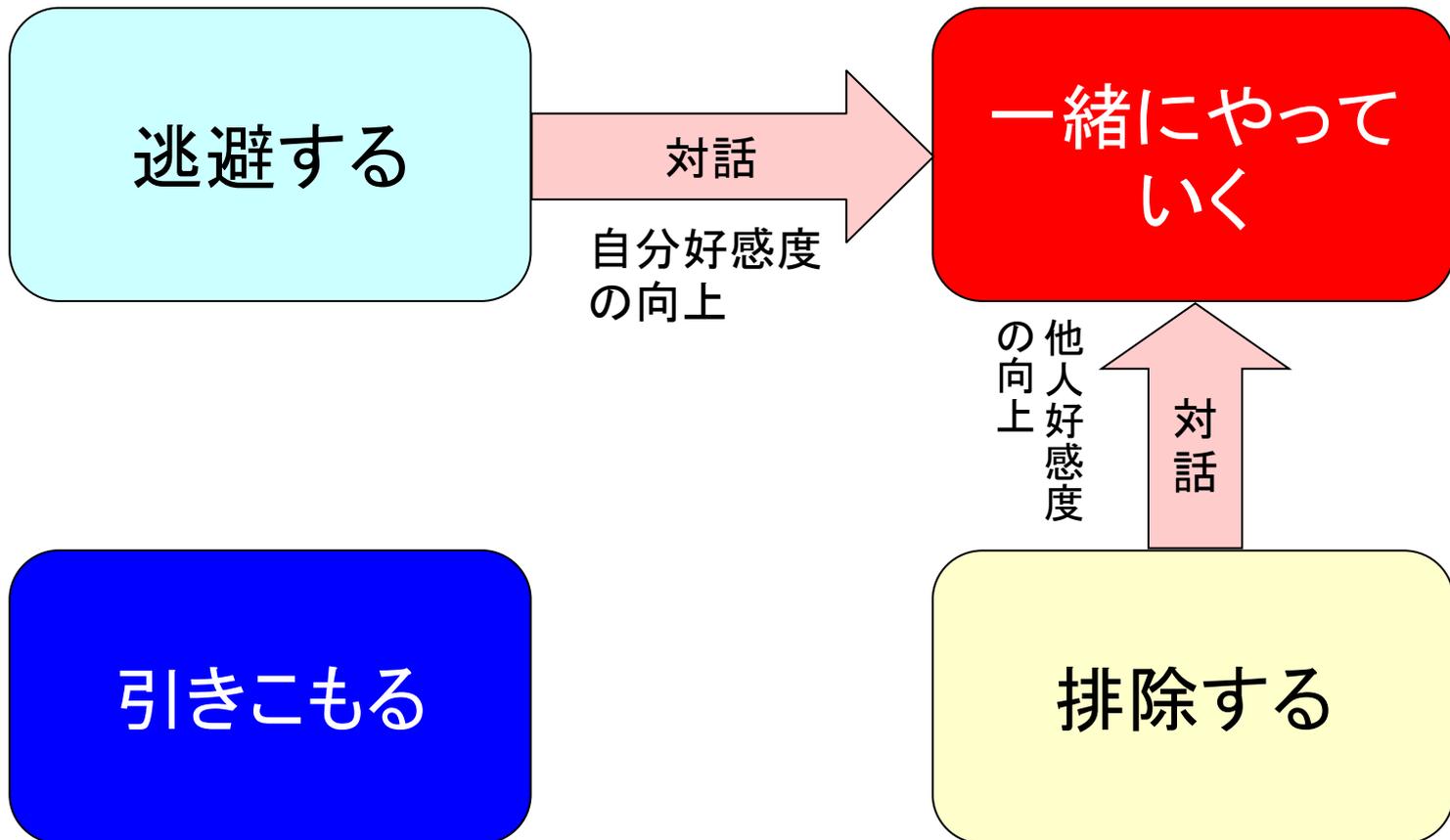
■ 推測

- 適切な対話の状況を設定すれば、他者肯定や自己肯定が向上して、「一緒にやっていく」**共生的な態度に移行**する効果

「デンマークの選挙:90%近い投票率」, デンマーク大使館, 2017年11月1日.

<https://www.facebook.com/EmbassyDenmark/posts/1434218149948037/> (2019年8月9日アクセス)

共生的な社会的態度の向上仮説



シェア & ダイアローグ

Q: 正課外の活動に参加したことがありますか？

それは、どんな活動ですか？



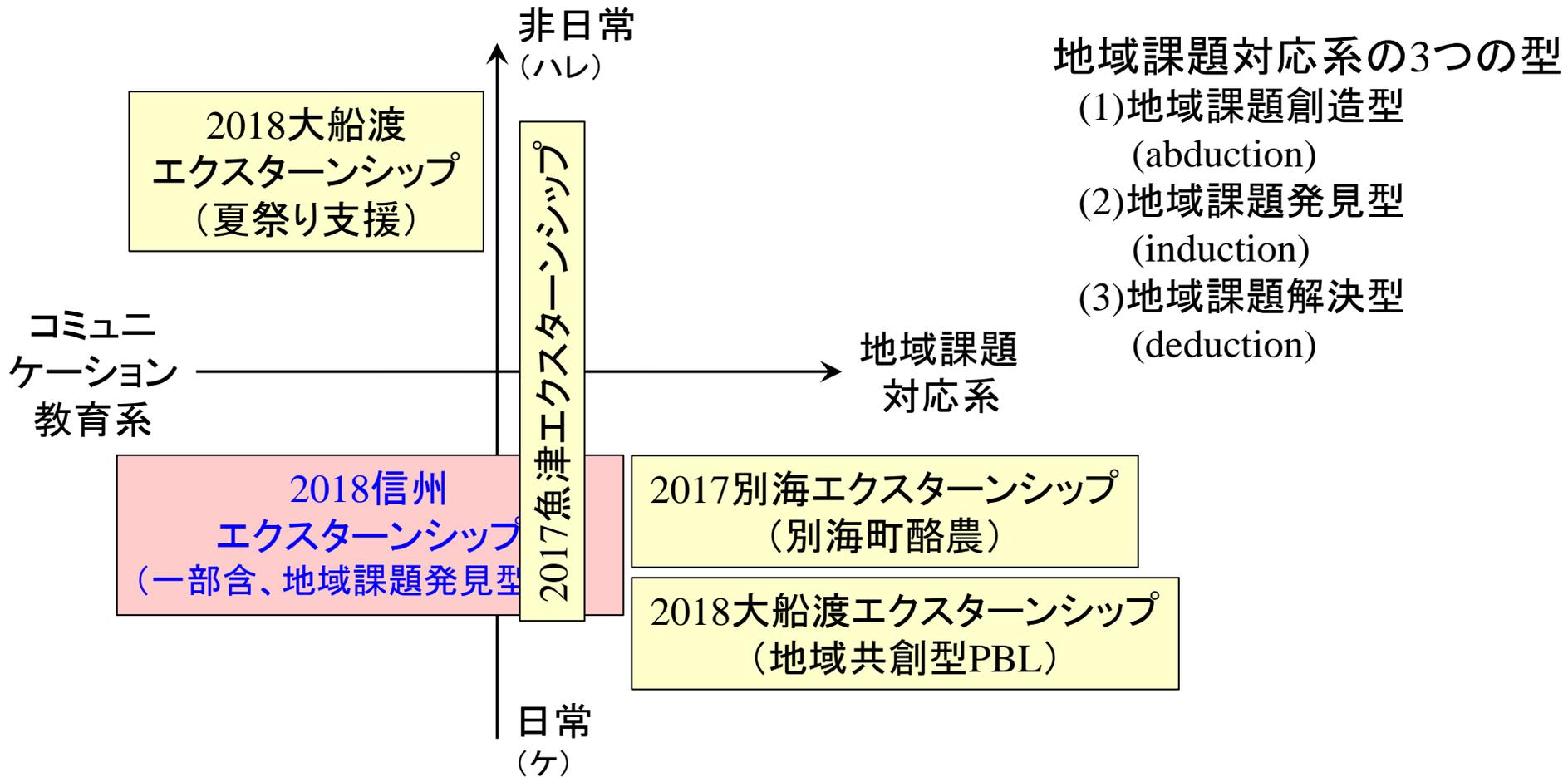
MEIJI
UNIVERSITY

重層的に「対話」を組み み込んだ信州エクス ターンシップ2018



2018エクスターンシップ特性図

Version 1.0 2017年8月19日 阪井和男





信州エクスターンシップ2018

■ 期間

- 2018年8月26日(日)～9月1日(土)(6泊7日)

■ 参加大学 = 10大学

- 22学部
- 25学科

■ 参加学生

- 37名

■ 出身地

- 13都道府県と海外

■ 受入企業・団体

- 長野市の16機関

- 団体(JA長野)・自治体(県庁・市役所)

[10] 『信州エクスターンシップ2016-2018:本気のコミュニケーション実証実験報告書:キャリア教育の壁を打開する学習プログラムは開発できたか』, 明治大学社会イノベーション・デザイン研究所, 2018年11月28日.

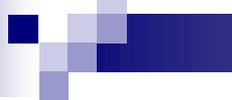
[11] 阪井和男, 「本気の場合づくりが学生と社会人の学習を促す:信州エクスターンシップにおける企業の人材育成と大学のキャリア教育の統合を目指して」, 『農業協同組合経営実務』(増刊号), 全国共同出版, pp. 54-66, 2016年9月15日.

[12] 阪井和男, 「基調報告:信州エクスターンシップの航跡」, 『共済総研レポート』, JA共済総合研究所, pp. 4-11, 2017年6月1日.

[13] 阪井和男, 「信州エクスターンシップの航跡」, 『共済総合研究』(別冊), JA共済総合研究所, pp. 16-33, 2017年11月15日.

[14] 阪井和男・池田啓実・早川政宏・松井秀夫・坂知樹・鈴木賞子・川井真・内藤邦男・高木英彰・川尻知弥, 「農山漁村地域の再生・活性化に向けた若年層の地方人材還流戦略:首都圏大学生を対象とした地域滞在型就業体験事業・信州エクスターンシップから見てきたこと」, 『共済総合研究』(別冊), JA共済総合研究所, pp. 86-127, 2017年11月15日.

[15] 阪井和男, 「多重知能理論とその大学教育への応用」, IEICE Fundamentals Review, Vol. 11, No. 4, pp. 266-287, 2018年4月1日.



重層的な対話構造

1. 本気のインタビュー体験
2. 体験のフィードバック手帳による記録
3. 記録から強みの原石を見つけるための自己リフレクションとチームによるリフレクション
4. リフレクション結果の(ドラッカーの樹にちなんだ)フィードバックの樹による図化
5. 図化の結果のインタビューとの即日リフレクション
6. 成果発表チームの自律的な編成
7. 成果発表会での発表
8. 事前の期待にたいする事後のリフレクションなど(対話的状況の強化についての詳細は報告[16]を参照)

阪井和男,「教育インパクトの測定と分析」,「信州エクスターンシップ2016-2018『本気のコミュニケーション』実証実験報告書:キャリア教育の壁を打開する学習プログラムは開発できたか」, 明治大学社会イノベーション・デザイン研究所, pp. 17-18, 2018年11月28日. (同論文の初期バージョンの図3において、自分・他人好感度(意識)の確信度は、事前(pre)と事後(post)のデータの扱いに間違いがあり、事前(pre)と事後(post)を逆に解釈する必要がある。ここにお詫びとともに訂正させていただく)

日中の調査・インタビュー





夜のリフレクション



2018

1日目

2日目

3日目

4日目

5日目

6日目

7日目

・移動:
東京から

・経験
・インタビュー

・経験
・インタビュー

・経験
・インタビュー

・経験
・インタビュー

農業
体験

・発表準備

・成果発表会
・修了式
・表彰式

・移動:
東京へ

事前教育

- ・本気のコミュニケーション
- ・コルブの経験学習モデル
- ・本気のインタビュー

- ・一週間後の自分への手紙
- ・事前アンケート提出確認
- ・調査・取材
- ・明日の目標

- ・フィードバック手帳の記入
- ・シェア
- ・調査・取材
- ・明日の目標

- ・ラベルワーク
- ・図解

- ・最終成果

事後教育

- ・多重知能理論
- ・エクスタンスシップにおける個人の変化と成果・強み

事前アンケート

キャリア・アンカー他

事後アンケート(1)

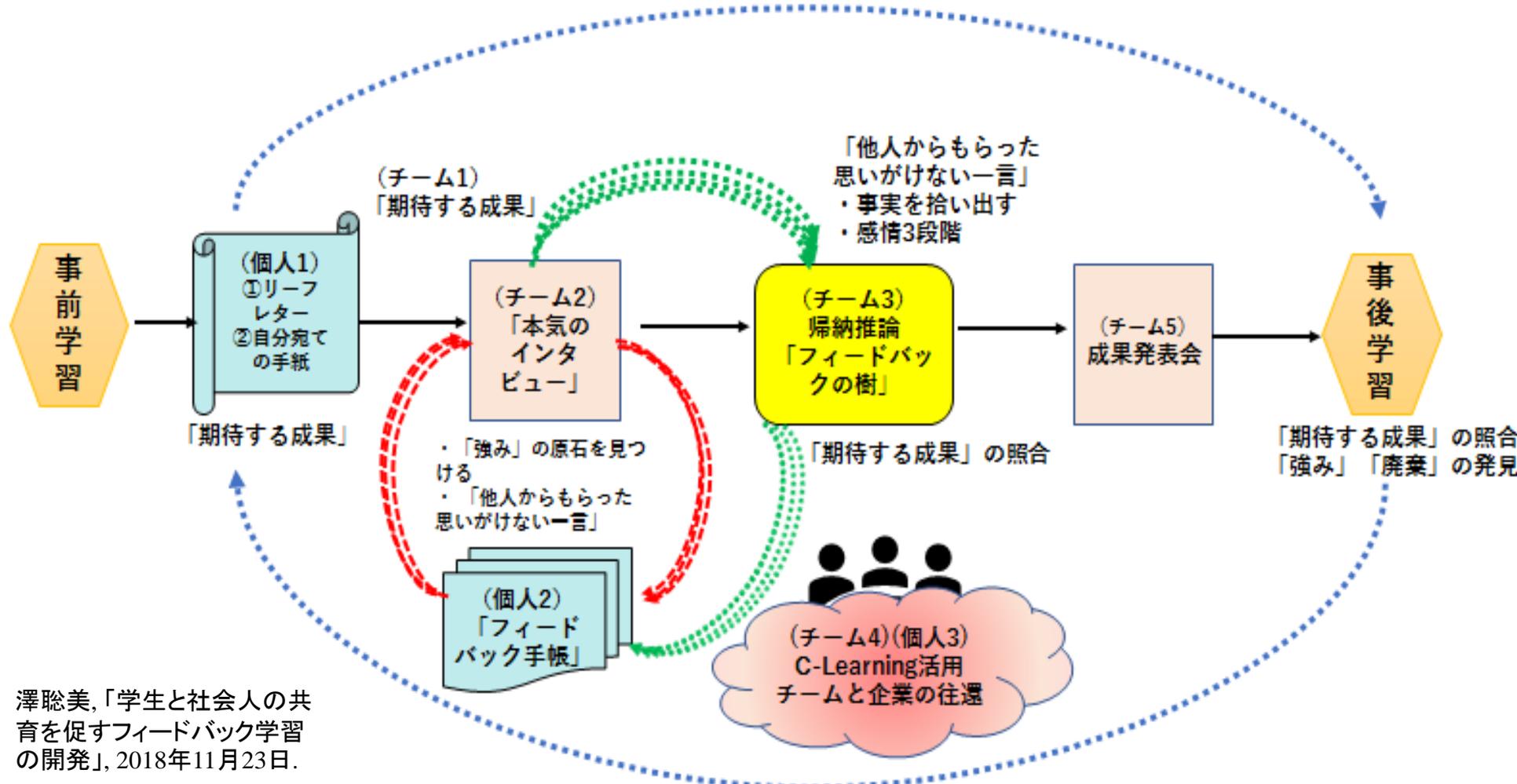
SAN感情究極の質問他

事後アンケート(2)

キャリア・アンカー多重知能他

信州エクスターンシップ2018の構成

3重のフィードバック・ループ



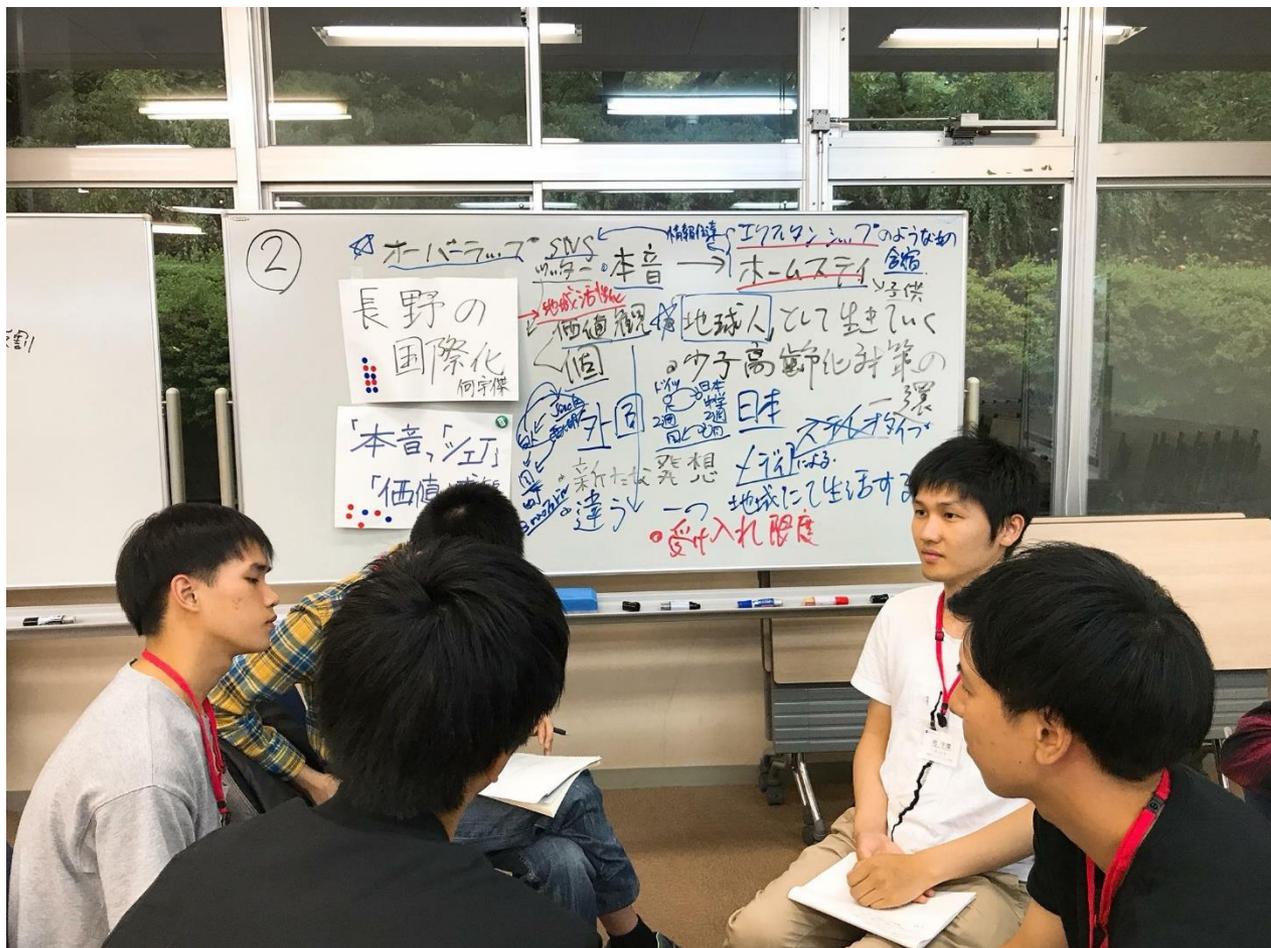
澤聡美, 「学生と社会人の共育を促すフィードバック学習の開発」, 2018年11月23日.

発表チームづくり (Open Space Technology)





発表準備





成果発表





MEIJI
UNIVERSITY

「対話」は共生的態度 を育むか？

社会的態度の要因を探る：
「非意識」の自他好感度



集団式潜在連想テスト「自分と他人」

■ 「自分」と「他人」の好感度

□ 潜在連想テストによる**非意識の好感度**

■ 集団式潜在連想テストによる「自分」と「他人」の好感度

□ ランダムな2文字熟語(60語)のなかに「自分」または「他人」が1/3の確率で含まれる

□ 内田クレペリン試験検査のように20秒間で○×をつける

■ ターゲットの2文字熟語「**自分**」の好感度

□ 「わくわくエンジン」提唱者の朝山あつこ(認定NPO法人キーパーソン21・代表理事)および関係者たちと相談しキーワード「**自分**」の採用を決定(2018年6月)

内田昭利・守一雄, 『中学生の数学嫌いは本当なのか ~証拠に基づく教育のススメ~』, 北大路書房, 2018年4月18日.
FUMIEテスト実施用電子ファイル <http://www.avis.ne.jp/~uriuri/kaz/fumie/index.html> (2018年5月27日アクセス)

テスト質問紙(一部拡大)[1/2]

課題0

良い意味には○ 悪い意味には×

→

平和 満足 不幸 危険 戦争 当選 敗北 幸福 安全 不満 不安 貯金 絶望 落選

「自分」には○

課題A-1

→

満足 **自分** 戦争 絶望 最高 **自分** 敗北 平等 **自分** 勝利 **自分** 短所 **自分** 不安

「自分」には×

課題B-1

→

最高 不幸 **自分** 差別 勝利 **自分** 安全 **自分** 下品 危険 **自分** 幸福 **自分** 敗北

「自分」には○

課題A-2

→

戦争 幸福 **自分** 当選 **自分** 下品 **自分** 不幸 安心 **自分** 貯金 落選 最低 健康

下記URLの「標準版FUMIEテスト用紙 Excelファイル」を修正して作成。

FUMIEテスト実施用電子ファイル <http://www.avis.ne.jp/~uriuri/kaz/fumie/index.html> (2018年5月27日アクセス)



テスト質問紙(一部拡大)[2/2]

課題B-6

→

「他人」には○

最低 他人 幸福 不満 他人 安心 他人 病気 満足 貯金 悪魔 他人 不安 他人

課題A-7

→

「他人」には×

満足 他人 戦争 絶望 最高 他人 敗北 平等 他人 勝利 他人 短所 他人 不安

課題B-7

→

「他人」には○

戦争 幸福 他人 当選 他人 下品 他人 不幸 安心 他人 貯金 落選 最低 健康

1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14

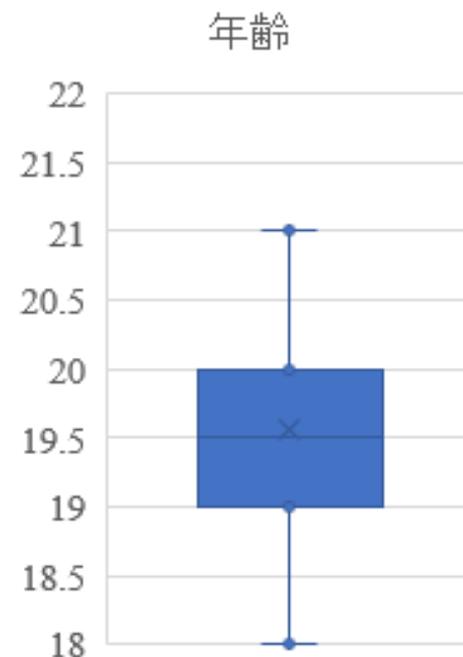
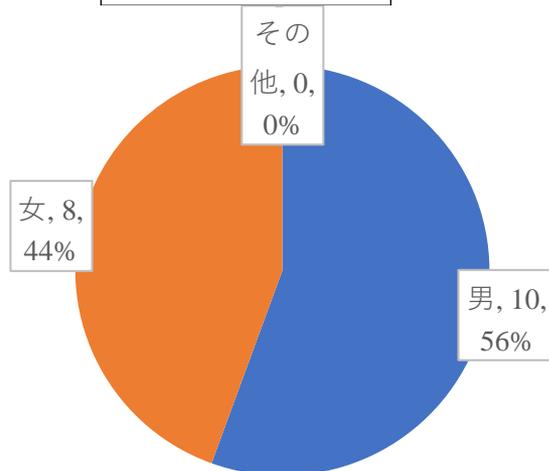
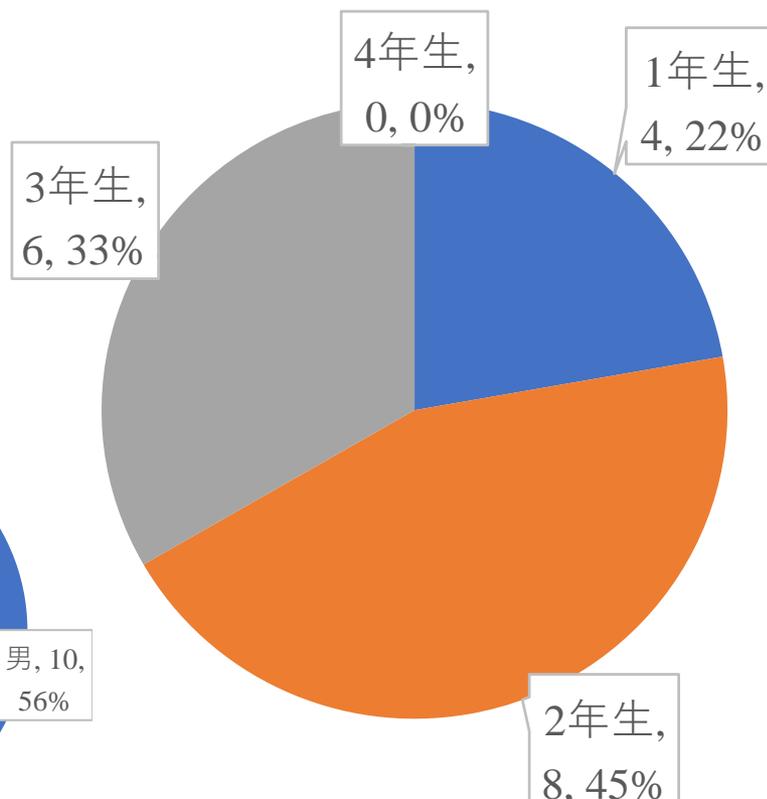
下記URLの「標準版FUMIEテスト用紙 Excelファイル」を修正して作成。

FUMIEテスト実施用電子ファイル <http://www.avis.ne.jp/~uriuri/kaz/fumie/index.html> (2018年5月27日アクセス)

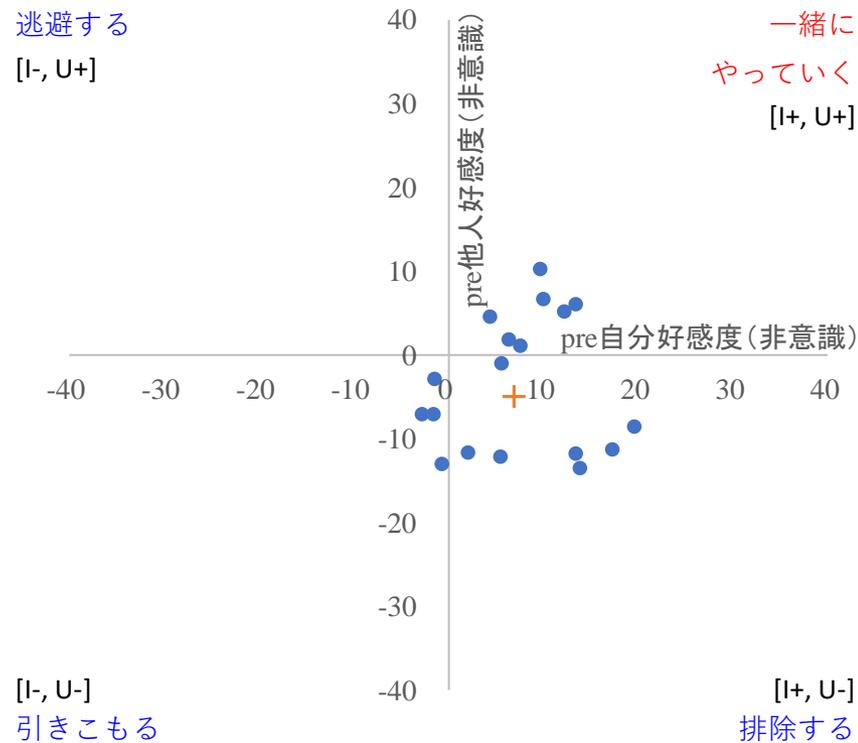
集団式潜在連想テスト

- 事前アンケート 2018/8/18 ~ 2018/8/25 47名
- 事後アンケート 2018/9/13 ~ 2018/9/19 18名 (回答20名)

1年生	4
2年生	8
3年生	6
4年生	0
計	18



事前の自他好感度(非意識)から見る社会的態度($n=18$)



事後の自他好感度（非意識）から 見る社会的態度 ($n=18$)

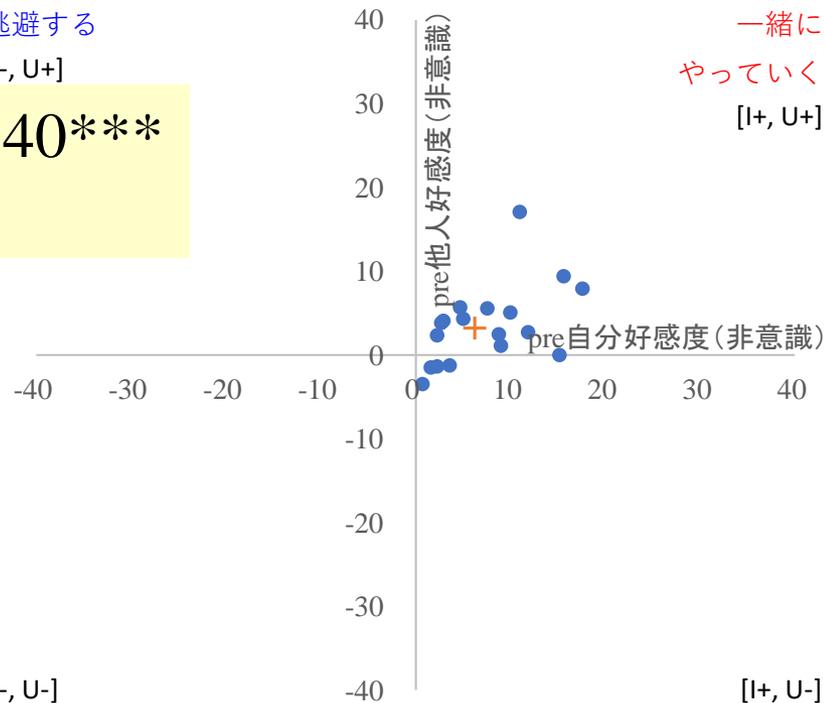
他人好感度の t 値 = 4.40***
(*** $p < .001$)

逃避する
[I-, U+]

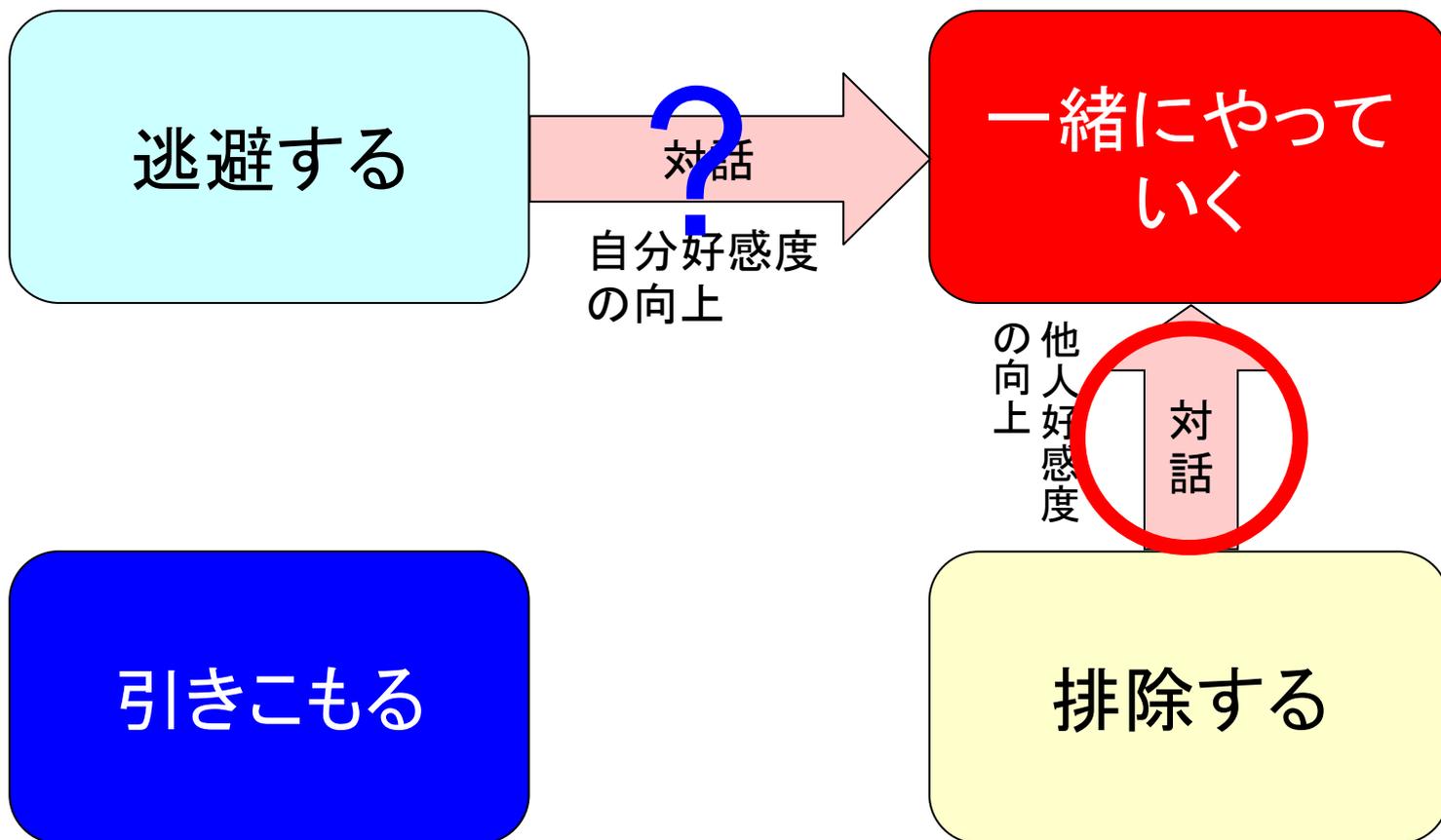
一緒に
やっっていく
[I+, U+]

[I-, U-]
引きこもる

[I+, U-]
排除する



共生的な社会的態度の向上仮説



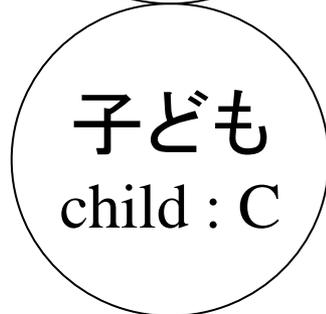
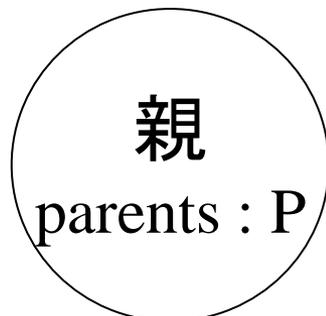


MEIJI
UNIVERSITY

対話をPACモデルで 解釈する

交流分析のPACモデル

(自我状態の基本構造)



■ P(Parent、親)、A(Adult、成人)、C(Child、子ども)からなる自我状態モデル*

- 精神が子どもの頃の経験によって形作られるP、A、Cの3つの自我状態があると仮定*
- 体験し、行動して、考え、感情を混合させながら、個性を表現するとき、3つの自我状態のいずれかにいる

*イアン・スチュアート; ヴァン・ジョインズ, 『TA today : 最新・交流分析入門』, 実務教育出版, 第3章, 1991年6月1日. 原著: Stewart, I. & Joines, V. (1987) TA TODAY: A new introduction to transactional analysis.

シェア & ダイアローグ

Q:二人一組で
PACワークをやります

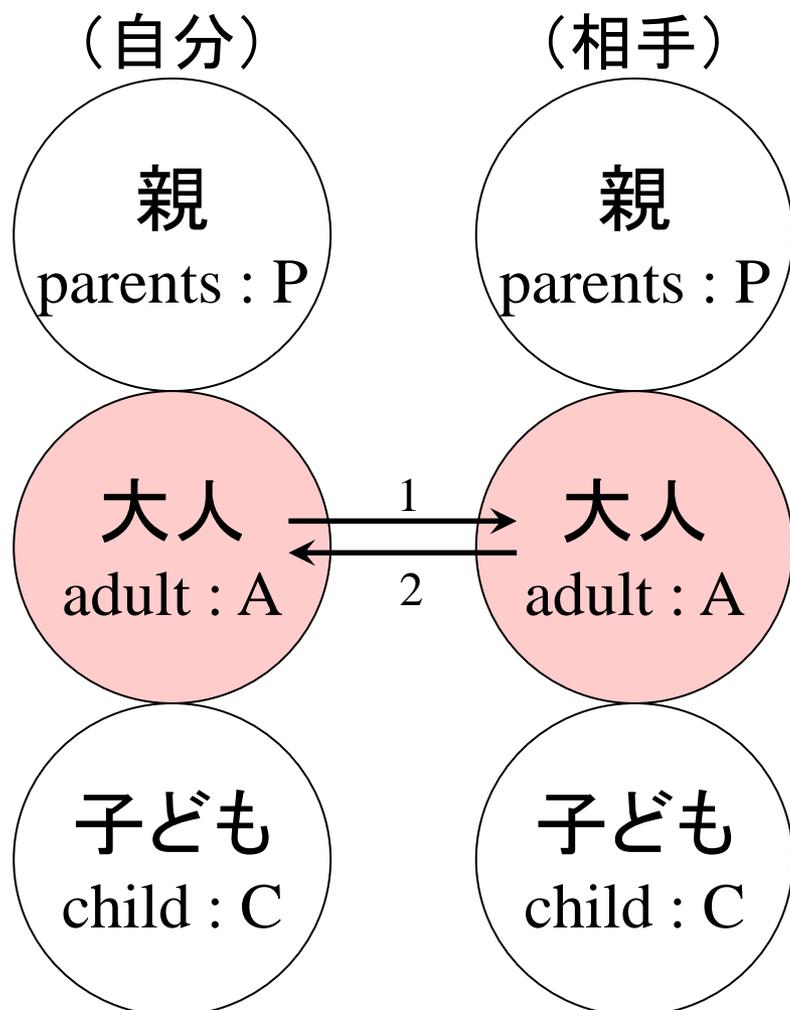
どんなことを感じましたか？

シェア & ダイアログ

Q:「対話」の目的は
なんだと思いますか？

それは、なぜですか？

「対話の目的」仮説



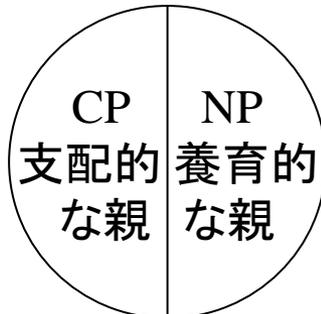
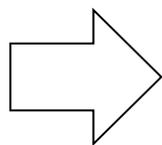
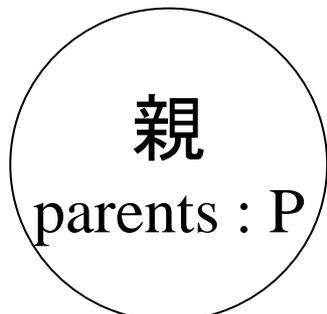
- 対話の目的
 - 「大人」の心どうしてキャッチボールを続けること
 - 相補交流・平行交流($A \Leftrightarrow A$)
- 達成された状態
 - 交流チャンネルをAに制約されている
- 目標
 - 理性的な対話の状況をつくりだすこと

阪井和男, 「対話による共生的な社会的態度の育成: 信州エクスターンシップにおける市民性の創造の試みから」, 『農業協同組合経営実務』, 2019年増刊号, 全国共同出版, (印刷中), 2019年9月15日.

交流分析によるパーソナリティ理解

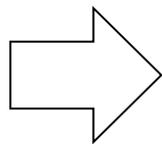
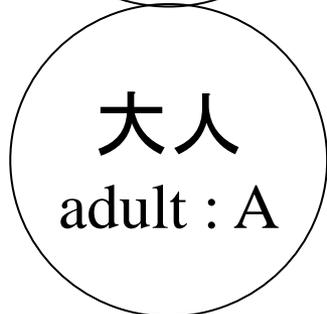
(自我状態の基本構造)

(自我状態の機能的分類)



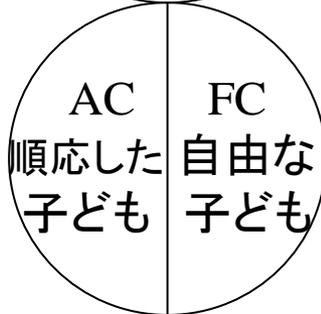
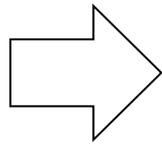
CP : Controlling (Critical)
Parent

NP: Nurturing Parent



A : Adult

FC : Free Child

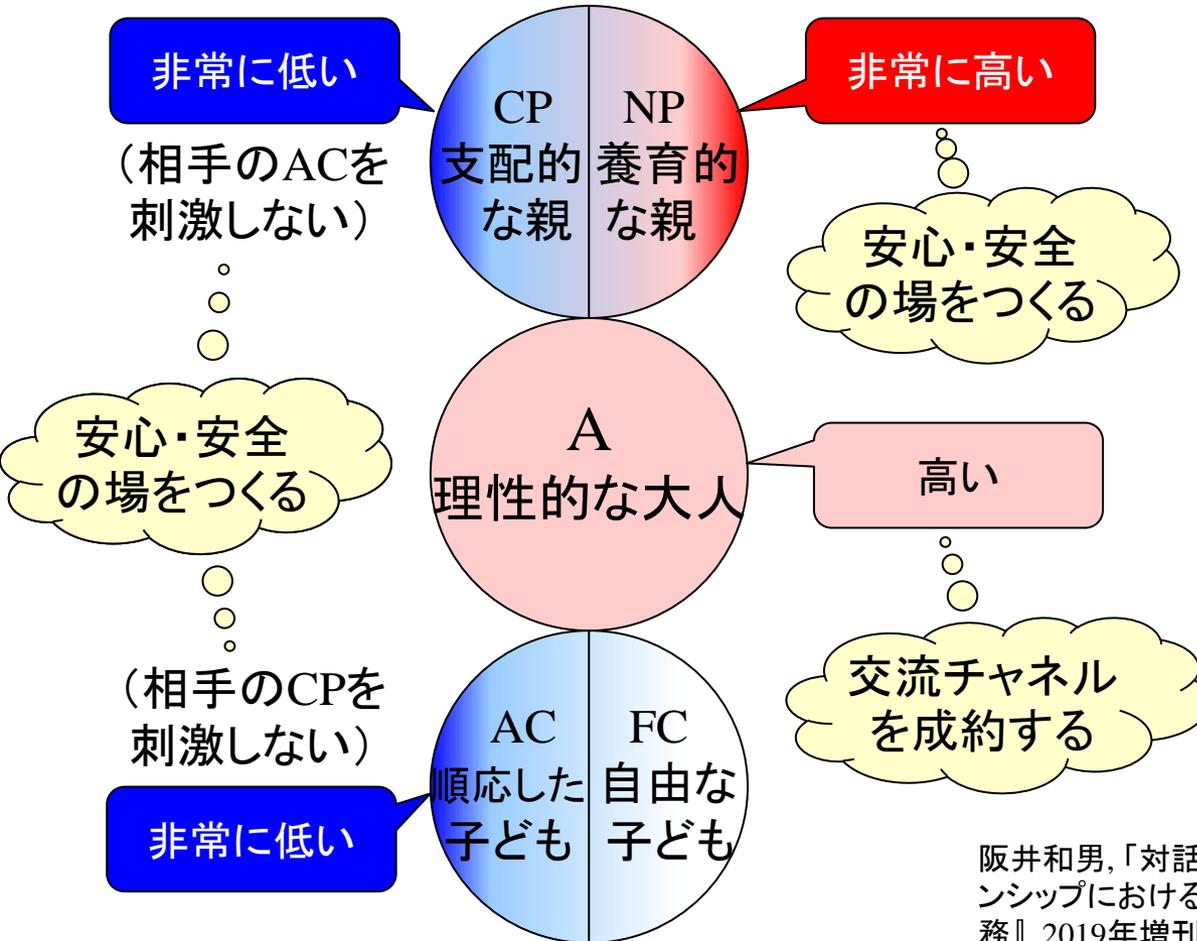


AC : Adapted Child

宮原諄二、「創造的技術者の論理とパーソナリティ」、『イノベーション・マネジメント入門』、一橋大学イノベーション研究センター編、日本経済新聞社、第8章、pp. 218-244、2001年12月21日。

対話的パーソナリティの自我状態仮説

(自我状態の機能的分類)



■ 目標

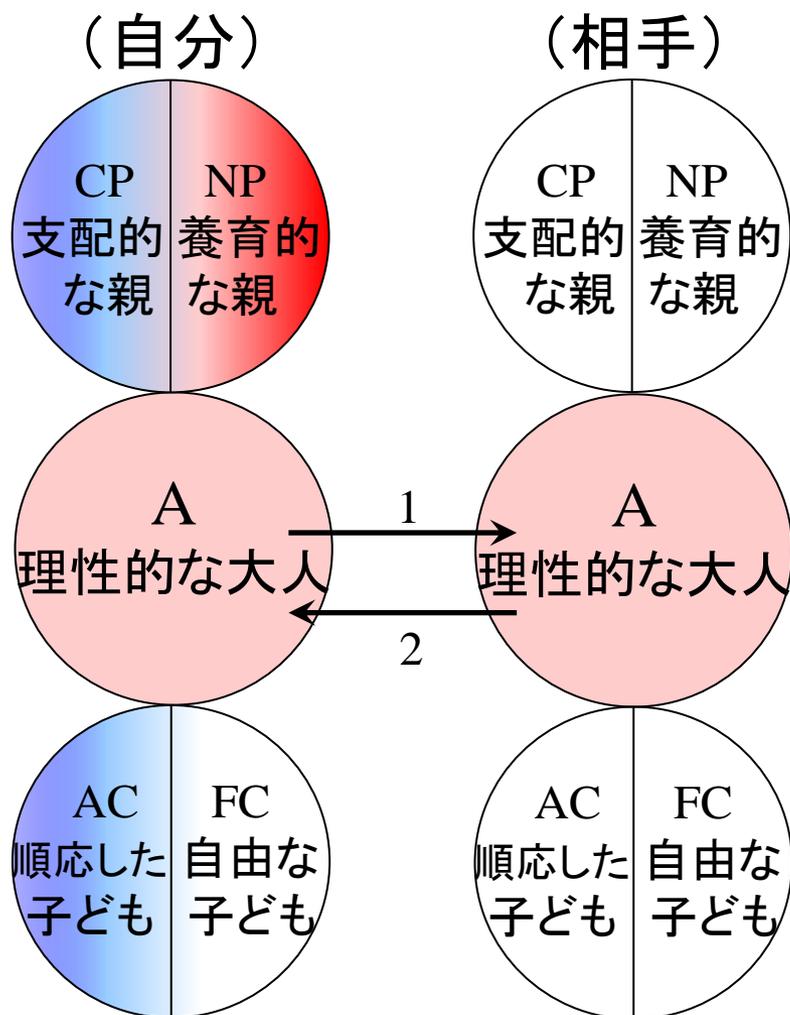
- 理性的な対話の状況をつくりだすこと

■ 手段

- 安心・安全の場をつくる「態度」
 - 非常に高いNP
 - 非常に低いCP・AC
 - 肯定ファースト
- 交流チャンネルを成約する「行為」
 - 高いA
 - 対話

阪井和男, 「対話による共生的な社会的態度の育成: 信州エクスターンシップにおける市民性の創造の試みから」, 『農業協同組合経営実務』, 2019年増刊号, 全国共同出版, (印刷中), 2019年9月15日.

「対話の目的」仮説



■ 肯定ファースト**

- ひとまずどんな相手の言葉でも「養育的な親」(NP)をミットとして受け止める

■ 交流チャネルをAに制約

- 「理性的な大人」(A)の心から、相手のAへソフトにボールを投げる
- 相手がAで受け止められるなら、A どうしてキャッチボールが続けられる(目的の達成)

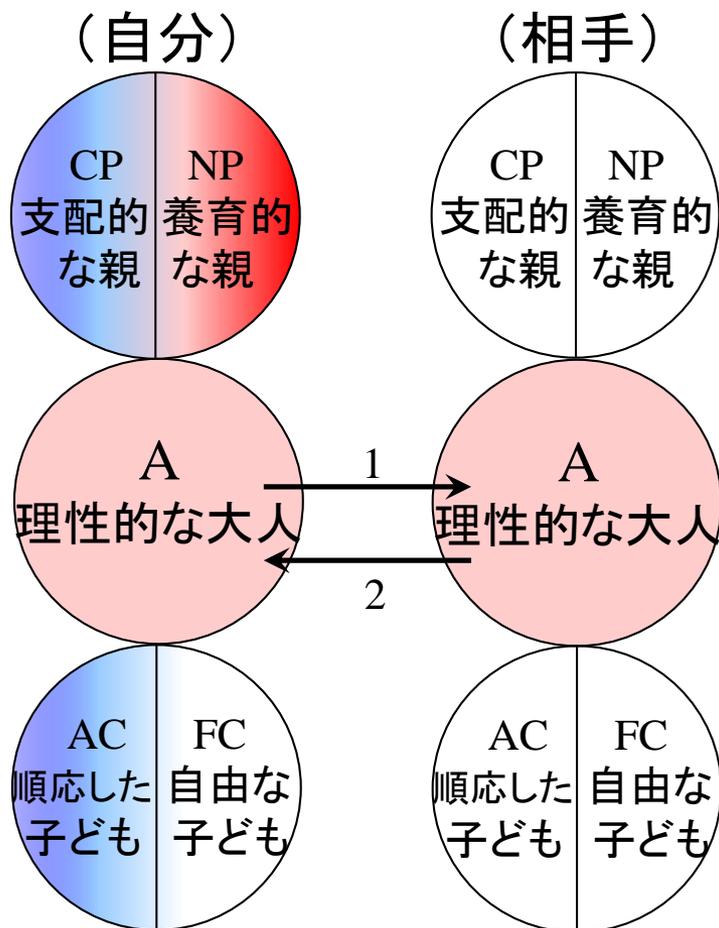
*イアン・スチュアート; ヴァン・ジョインズ, 『TA today : 最新・交流分析入門』, 実務教育出版, 第7章, 1991年6月1日. 原著: Stewart, I. & Joines, V. (1987) TA TODAY: A new introduction to transactional analysis.

**西條剛央, 「EMS本質クレド」, エssenシャル・マネジメント・スクールとは, エssenシャル・マネジメント・スクール, 2019年1月30日.

[https://essential-](https://essential-management.jimdofree.com/ems%E3%81%A8%E3%81%AF/)

[management.jimdofree.com/ems%E3%81%A8%E3%81%AF/](https://essential-management.jimdofree.com/ems%E3%81%A8%E3%81%AF/) (2019年8月14日アクセス)

対話の目的



(対話の目的)

- 理性的な対話の状況を
どうにかしてつくりだす
こと

阪井和男, 「対話による共生的な社会的態度の育成: 信州エクスターンシップにおける市民性の創造の試みから」, 『農業協同組合経営実務』, 2019年増刊号, 全国共同出版, (印刷中), 2019年9月15日.



対話の手段

(1) 安心・安全の場をつくる「**態度**」をとること

□ 養育的な親(NP)

- ミットとして受け止め、肯定ファースト**を支える自我状態におく

□ 非常に高い養育的な親(NP)&非常に低い支配的な親(CP)& 順応した子ども(AC)

□ 養育的な親(NP)を活性化

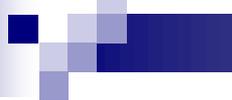
- 他の4つの自分の心との**自律的な自己交流を深め**、つねに養育的な親(NP)が主導する自我状態を保つ「態度」をとり続ける

(2) 交流チャネルを制約する「**行為**」をとること

□ 焦点を「**今—ここ**」で起きていることの行動・思考・感情に当てて、**交流チャネルを理性的な大人(A)に制約**

阪井和男,「対話による共生的な社会的態度の育成:信州エクスターンシップにおける市民性の創造の試みから」,『農業協同組合経営実務』,2019年増刊号,全国共同出版,(印刷中),2019年9月15日.

**西條剛央,「EMS本質クレド」,エッセンシャル・マネジメント・スクールとは,エッセンシャル・マネジメント・スクール,2019年1月30日. <https://essential-management.jimdofree.com/ems%E3%81%A8%E3%81%AF/> (2019年8月14日アクセス)



対話の効果

■ 安心・安全な場をもたらす

□ 対話の場がNPで満たされる

→ 対話の場そのものが安心・安全な場に

■ 創造的な気づきをもたらす

□ 自由な子ども(FC)

→ 固定化された認識の枠からはずれたゆらぎをもたら
し、想定外の創造的な気づきを創発(創造を誘発)

対話はコーチングやアクティブラーニングの基盤！

阪井和男,「対話による共生的な社会的態度の育成:信州エクスターンシップにおける市民性の創造の
試みから」,『農業協同組合経営実務』,2019年増刊号,全国共同出版,(印刷中),2019年9月15日.

シェア & ダイアローグ

Q: この講座を通して
感じたことは何でしょうか？



MEIJI
UNIVERSITY

おわり